

日本福祉大学 共同研究会育成支援研究成果報告

研究代表者 所属・職：子ども発達学部・教授
氏名：近藤 直子

研究会名：発達障害児者支援研究会

研究課題名：発達障害者の支援に関する多面的研究

研究会発足当初の背景

2014年度指定研究プロジェクトでは研究会構成員の研究分野の報告を4回実施し、作業療法に関する公開研究会を1回開催した。その成果を踏まえ報告集を準備するとともに、ライフステージに沿って研究成果を整理し体系化を図る必要性があると考えた。

研究会の目的

学内研究会を毎月開催し、ライフステージに沿って発達障害児者支援の課題と成果をまとめ、報告集として公表するとともに、通信過程で活用可能な教材開発に着手する。

また、研究会参加者の層の拡大を目指し、1回は半田キャンパスで開催する。

研究会の活動実績

4月28日 堀美和子

「幼児期から学童期の子ども理解の共有－保護者支援の視点から－」

5月28日 牧真吉

「関係性の遅れと自閉症スペクトラム」

6月25日 田中尚樹

「発達障害の子どもが大人に向けて学んでおくこと」

7月18日 松澤裕美子

「理学療法士からみた発達障害の子どものからだの発達と療育」

9月24日 伊藤修毅

「障害児の性と生の教育・支援」

10月29日 青木聖久

「精神障害者福祉の窓から見る発達障害者」

11月26日 田中賢

「福祉住環境から発達障害者支援を考える」

12月24日 近藤直子

「児童発達支援事業所における療育実践」

研究会8回；美浜7回、半田1回

参加者；教員3学部15名、職員4名、学外者1名

研究成果

2014年度の報告集を年度末に刊行。2015年度報告のテープ起こし中。

福祉経営学部用オンデマンド教材のための撮影を一部開始。

今後の展望

2016年度も引き続き研究会を開催予定。第1回は4月21日。代表は牧、事務局は田中尚樹を予定。

2015年度の報告集の作成及び、オンデマンド教材の完成。福祉経営学部の方針に沿って配信を予定。